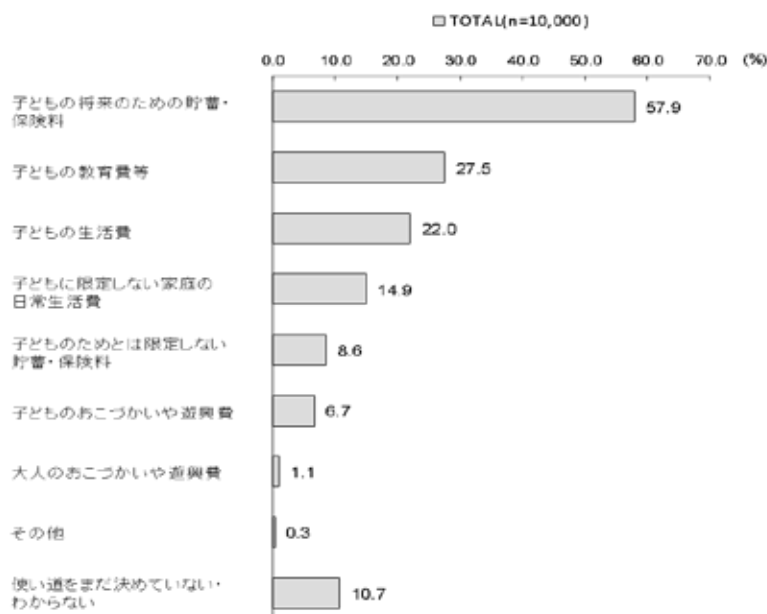


「児童手当等の使途に関する意識調査」(平成30～31年)のポイント

1. 児童手当等の使途(予定含む)

児童手当等をどのような使い道に使ったか(使う予定か)を複数回答で聞いたところ、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(57.9%)、「子どもの教育費等」(27.5%)、「子どもの生活費」(22.0%)の順となった(図1)。

(図1) 児童手当等の使途(予定含む)(複数回答)



2. 児童手当等の使途別使用金額(予定含む)

実際の児童手当等の使途別使用金額について、子どもの人数別に使用金額をみると、人数が多くなるほど「子どもの生活費」と「子どもの教育費等」の合計割合が増え「3人以上」が一番大きく、また、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は「3人以上」になると構成割合が大きく減少している(表1)。

(表1) 児童手当等の使途別使用金額・子どもの人数別

	TOTAL		1人		2人		3人以上	
	回答者数(人)	金額(円)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
子どもの生活費	2,196	3,129	3,479	10.4	2,690	9.0	3,353	11.5
子どもの教育費等	2,748	4,436	4,164	12.5	4,557	15.2	4,816	16.5
子どものおこづかいや遊興費	671	570	583	1.7	491	1.6	739	2.5
大人のおこづかいや遊興費	108	104	116	0.3	80	0.3	137	0.5
子どもに限定しない家庭の日常生活費	1,490	2,943	2,960	8.9	2,735	9.1	3,428	11.8
子どもの将来のための貯蓄・保険料	5,789	15,858	17,359	51.9	15,606	52.1	12,710	43.6
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	856	1,684	1,581	4.7	1,732	5.8	1,821	6.2
その他	31	80	82	0.2	99	0.3	27	0.1
使い道をまだ決めていない・わからない	1,074	2,471	3,104	9.3	1,980	6.6	2,111	7.2
計	-	31,276	33,427	100.0	29,971	100.0	29,141	100.0

生計維持者の年収別と世帯年収別の300万円以上のいずれの区分でも、使途として「子どもの生活費」・「子どもの教育費等」の合計割合に大きな差異は見られない。一方で、「使い道をまだ決めていない・わからない」の割合は、いずれの場合も基本的には年収が上がるほど割合も上がっていく傾向にある。

なお、各年収区分の人数については、「1,000～1,200万円未満」、「1,200万円以上」のいずれの区分も、世帯年収別の人数が生計維持者の年収別の人数と比べて2～3倍となっており、共働き世帯が一定数いるという全体の回答属性と整合的なものとなっている（表2、3）。

（表2）児童手当等の使途別使用金額・生計維持者の年収別

	T O T A L	300万円未満		300万円～599万円未満		600万円～799万円未満		800万円～999万円未満		1,000万円～1,199万円未満		1,200万円以上			
		金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)		
子どもの生活費	2,196	3,129	10.0	5,110	15.7	3,439	10.2	2,826	8.7	1,726	6.1	928	6.8	770	5.5
子どもの教育費等	2,748	4,436	14.2	5,214	16.0	4,426	13.1	4,405	13.5	4,734	16.6	2,558	18.7	2,957	21.2
子どものおこづかいや遊具費	671	570	1.8	1,054	3.2	643	1.9	347	1.1	402	1.4	203	1.5	311	2.2
大人のおこづかいや遊具費	108	104	0.3	168	0.5	88	0.3	126	0.4	74	0.3	42	0.3	90	0.6
子どもに限定しない家庭の日常生活費	1,490	2,943	9.4	5,166	15.9	3,248	9.6	2,068	6.3	2,310	8.1	1,085	7.9	882	6.3
子どもの将来のための貯蓄・保険料	5,789	15,858	50.7	11,463	35.2	17,574	52.0	18,384	56.4	14,804	52.0	7,177	52.6	6,480	46.5
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	856	1,684	5.4	2,072	6.4	1,741	5.2	1,629	5.0	1,703	6.0	759	5.6	843	6.1
その他	31	80	0.3	75	0.2	101	0.3	82	0.3	40	0.1	0	0.0	28	0.2
使い道をまだ決めていない・わからない	1,074	2,471	7.9	2,221	6.8	2,548	7.5	2,744	8.4	2,698	9.5	901	6.6	1,560	11.2
計	-	31,276	100.0	32,543	100.0	33,808	100.0	32,612	100.0	28,493	100.0	13,652	100.0	13,922	100.0

（表3）児童手当等の使途別使用金額・世帯年収別

	T O T A L	300万円未満		300万円～599万円未満		600万円～799万円未満		800万円～999万円未満		1,000万円～1,199万円未満		1,200万円以上			
		金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)		
子どもの生活費	2,196	3,129	10.0	5,433	16.7	3,643	11.0	2,907	8.7	2,421	7.5	2,071	7.9	1,395	6.6
子どもの教育費等	2,748	4,436	14.2	5,168	15.9	4,869	14.7	4,056	12.1	4,525	14.0	3,749	14.2	3,613	17.2
子どものおこづかいや遊具費	671	570	1.8	1,041	3.2	666	2.0	518	1.5	462	1.4	314	1.2	252	1.2
大人のおこづかいや遊具費	108	104	0.3	189	0.6	90	0.3	73	0.2	75	0.2	146	0.6	134	0.6
子どもに限定しない家庭の日常生活費	1,490	2,943	9.4	5,063	15.6	3,671	11.0	2,553	7.6	2,373	7.3	1,641	6.2	1,165	5.5
子どもの将来のための貯蓄・保険料	5,789	15,858	50.7	11,488	35.3	15,722	47.3	18,786	56.3	18,175	56.2	15,035	57.0	11,194	53.2
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	856	1,684	5.4	1,929	5.9	1,908	5.7	1,649	4.9	1,785	5.5	1,205	4.6	1,046	5.0
その他	31	80	0.3	91	0.3	48	0.1	180	0.5	41	0.1	55	0.2	11	0.1
使い道をまだ決めていない・わからない	1,074	2,471	7.9	2,126	6.5	2,608	7.9	2,671	8.0	2,470	7.6	2,156	8.2	2,236	10.6
計	-	31,276	100.0	32,527	100.0	33,227	100.0	33,392	100.0	32,327	100.0	26,372	100.0	21,047	100.0

世帯年収別の使用金額について、児童手当受給世帯（生計維持者の年収が基準未満）と特例給付受給世帯（生計維持者の年収が基準以上）を比較すると、比較可能な年収 800 万円以上の児童手当受給世帯ではいずれも、特例給付受給世帯の各年収区分に比べて「子どもの生活費」と「子どもの教育費等」の合計割合が少なく、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合が大きくなっている。（表 4、表 5）

（表 4）児童手当等の用途別使用金額・世帯年収別（児童手当受給世帯）

	T O T A L	3 0 0 0 万 円 未 満		3 0 0 0 万 円 未 満		6 0 0 0 万 円 未 満		1 8 0 0 0 万 円 未 満		1 1 0 0 0 万 円 未 満		1 2 0 0 万 円 以 上			
		金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
児童手当受給者全体:n=8,906 300万円未満:n=1,093 300~600万円未満:n=3,177 600~800万円未満:n=2,328 800~1,000万円未満:n=1,347 1,000~1,200万円未満:n=809 1,200万円以上:n=352															
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
子どもの生活費	2,056	3,406	10.2	5,445	16.7	3,651	11.0	2,917	8.7	2,572	7.6	2,736	7.9	2,462	7.7
子どもの教育費等	2,460	4,646	13.9	5,133	15.8	4,884	14.7	4,067	12.2	4,743	13.9	4,455	12.9	4,788	15.0
子どものおこづかいや 遊具費	611	609	1.8	1,047	3.2	666	2.0	520	1.6	502	1.5	342	1.0	203	0.6
大人のおこづかいや 遊具費	99	104	0.3	190	0.6	91	0.3	73	0.2	82	0.2	108	0.3	249	0.8
子どもに限定しない家庭の 日常生活費	1,380	3,170	9.5	5,095	15.7	3,673	11.0	2,559	7.7	2,447	7.2	2,105	6.1	1,299	4.1
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	5,197	16,928	50.7	11,456	35.2	15,697	47.2	18,775	56.2	19,220	56.4	20,246	58.6	18,300	57.3
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	782	1,793	5.4	1,941	6.0	1,916	5.8	1,654	5.0	1,869	5.5	1,486	4.3	1,372	4.3
その他	29	87	0.3	91	0.3	48	0.1	180	0.5	45	0.1	66	0.2	0	0.0
使い道をまだ決めていない・ わからない	962	2,619	7.8	2,139	6.6	2,619	7.9	2,665	8.0	2,589	7.6	2,988	8.7	3,274	10.2
計	-	33,363	100.0	32,539	100.0	33,245	100.0	33,411	100.0	34,068	100.0	34,532	100.0	31,946	100.0

（表 5）児童手当等の用途別使用金額・世帯年収別（特例給付受給世帯）

	T O T A L	3 0 0 0 万 円 未 満		3 0 0 0 万 円 未 満		6 0 0 0 万 円 未 満		1 8 0 0 0 万 円 未 満		1 1 0 0 0 万 円 未 満		1 2 0 0 万 円 以 上			
		金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
特例給付受給者全体:n=1,053 300万円未満:n=0 300~600万円未満:n=0 600~800万円未満:n=0 800~1,000万円未満:n=120 1,000~1,200万円未満:n=389 1,200万円以上:n=544															
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
子どもの生活費	135	849	6.2	-	-	-	-	-	824	6.4	1,051	7.8	710	5.1	
子どもの教育費等	279	2,668	19.5	-	-	-	-	-	2,267	17.7	2,643	19.5	2,775	19.9	
子どものおこづかいや 遊具費	59	251	1.8	-	-	-	-	-	29	0.2	274	2.0	284	2.0	
大人のおこづかいや 遊具費	8	51	0.4	-	-	-	-	-	0	0.0	54	0.4	61	0.4	
子どもに限定しない家庭の 日常生活費	107	1,091	8.0	-	-	-	-	-	1,650	12.9	931	6.9	1,083	7.8	
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	563	6,638	48.6	-	-	-	-	-	5,868	45.9	6,877	50.9	6,637	47.5	
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	72	816	6.0	-	-	-	-	-	921	7.2	778	5.8	820	5.9	
その他	2	24	0.2	-	-	-	-	-	0	0.0	39	0.3	18	0.1	
使い道をまだ決めていない・ わからない	110	1,277	9.3	-	-	-	-	-	1,233	9.6	877	6.5	1,574	11.3	
計	-	13,666	100.0	-	-	-	-	-	12,792	100.0	13,522	100.0	13,961	100.0	

次に、児童手当等の用途別使用金額について、長子の学齢区分別に使用金額をみると、児童手当受給世帯と特例給付受給世帯のいずれにおいても、基本的には長子の学齢が上がるほど「子どもの生活費」と「子どもの教育費等」の合計割合が増え、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合が減っているが、「使い道をまだ決めていない・わからない」は上下動している（表6、表7）。

（表6）児童手当等の用途別使用金額・長子学齢区分別（児童手当受給世帯）

	回答者数 (人)	T O T A L		0 5 3 歳		4 5 6 歳		小学 1 5 3 年生		小学 4 5 6 年生		中学 1 5 3 年生	
		金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
児童手当受給者全体:n=8,906 0~3歳:n=1,855 4~6歳:n=1,712 小学1~3年生:n=1,739 小学4~6年生:n=1,744 中学1~3年生:n=1,856													
子どもの生活費	2,056	3,406	10.2	4,839	10.8	2,964	9.7	3,409	11.2	2,769	9.2	2,979	9.9
子どもの教育費等	2,460	4,646	13.9	2,449	5.4	3,587	11.7	4,162	13.7	5,149	17.1	7,800	25.8
子どものおこづかいや 遊具費	611	609	1.8	459	1.0	532	1.7	771	2.5	564	1.9	722	2.4
大人のおこづかいや 遊具費	99	104	0.3	173	0.4	44	0.1	110	0.4	52	0.2	136	0.4
子どもに限定しない家庭の 日常生活費	1,380	3,170	9.5	2,946	6.5	2,451	8.0	2,698	8.9	3,464	11.5	4,223	14.0
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	5,197	16,928	50.7	28,034	62.3	16,872	55.3	15,174	49.9	13,877	46.1	10,389	34.4
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	782	1,793	5.4	2,065	4.6	1,673	5.5	1,785	5.9	1,902	6.3	1,535	5.1
その他	29	87	0.3	151	0.3	70	0.2	40	0.1	138	0.5	34	0.1
使い道をまだ決めていない・ わからない	962	2,619	7.8	3,875	8.6	2,337	7.7	2,258	7.4	2,177	7.2	2,375	7.9
計	-	33,363	100.0	44,992	100.0	30,532	100.0	30,408	100.0	30,092	100.0	30,194	100.0

（表7）児童手当等の用途別使用金額・長子学齢区分別（特例給付受給世帯）

	回答者数 (人)	T O T A L		0 5 3 歳		4 5 6 歳		小学 1 5 3 年生		小学 4 5 6 年生		中学 1 5 3 年生	
		金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
特例給付受給者全体:n=1,053 0~3歳:n=143 4~6歳:n=186 小学1~3年生:n=201 小学4~6年生:n=244 中学1~3年生:n=279													
子どもの生活費	135	849	6.2	1,601	12.6	858	5.9	721	5.3	680	5.0	699	5.1
子どもの教育費等	279	2,668	19.5	1,259	9.9	2,016	13.9	2,851	20.9	2,381	17.3	3,944	29.0
子どものおこづかいや 遊具費	59	251	1.8	17	0.1	435	3.0	331	2.4	45	0.3	371	2.7
大人のおこづかいや 遊具費	8	51	0.4	0	0.0	81	0.6	30	0.2	25	0.2	97	0.7
子どもに限定しない家庭の 日常生活費	107	1,091	8.0	350	2.8	1,194	8.3	709	5.2	1,309	9.5	1,487	10.9
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	563	6,638	48.6	7,633	60.1	6,766	46.8	7,192	52.8	6,848	49.9	5,459	40.1
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	72	816	6.0	734	5.8	1,478	10.2	838	6.1	879	6.4	344	2.5
その他	2	24	0.2	70	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	54	0.4
使い道をまだ決めていない・ わからない	110	1,277	9.3	1,028	8.1	1,634	11.3	960	7.0	1,561	11.4	1,147	8.4
計	-	13,666	100.0	12,692	100.0	14,462	100.0	13,632	100.0	13,730	100.0	13,602	100.0

同じ項目を末子学齢で見ても同様に、学齢が上がるほど「子どもの生活費」と「子どもの教育費等」の合計割合が増え「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合が減る傾向にあり、「使い道をまだ決めていない・わからない」は上下動しているが、その中でも特に「子どもの数3人以上」の場合には、母数が少ないものの、その傾向が強まっている（表8、表9）。

（表8）児童手当等の用途別使用金額・末子学齢区分別（全体）

	T O T A L			0 5 3 歳		4 5 6 歳		小学 1 5 3 年生		小学 4 5 6 年生		中学 1 5 3 年生	
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの生活費	2,196	3,129	10.0	3,946	10.9	2,769	9.7	2,546	9.1	2,565	9.3	2,408	8.6
子どもの教育費等	2,748	4,436	14.2	3,137	8.6	4,145	14.6	4,542	16.2	6,184	22.5	7,802	27.9
子どものおこづかいや 遊具費	671	570	1.8	489	1.3	680	2.4	573	2.0	620	2.3	599	2.1
大人のおこづかいや 遊具費	108	104	0.3	131	0.4	71	0.2	65	0.2	96	0.3	155	0.6
子どもに限定しない家庭の 日常生活費	1,490	2,943	9.4	2,695	7.4	2,600	9.2	3,035	10.8	3,294	12.0	4,045	14.5
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	5,789	15,858	50.7	21,165	58.3	14,179	49.9	13,324	47.5	11,208	40.8	8,745	31.3
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	856	1,684	5.4	1,878	5.2	1,651	5.8	1,753	6.2	1,264	4.6	1,425	5.1
その他	31	80	0.3	107	0.3	31	0.1	96	0.3	93	0.3	17	0.1
使い道をまだ決めていない・ わからない	1,074	2,471	7.9	2,780	7.7	2,282	8.0	2,118	7.5	2,169	7.9	2,723	9.8
計	-	31,276	100.0	36,327	100.0	28,407	100.0	28,051	100.0	27,493	100.0	27,919	100.0

（表9）児童手当等の用途別使用金額・末子学齢区分別（子どもの数3人以上）

	T O T A L			0 5 3 歳		4 5 6 歳		小学 1 5 3 年生		小学 4 5 6 年生		中学 1 5 3 年生	
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの生活費	443	3,353	11.5	3,736	12.5	3,372	12.1	2,759	9.6	1,473	5.2	714	3.1
子どもの教育費等	509	4,816	16.5	4,168	14.0	5,116	18.3	5,987	20.8	5,913	20.9	11,786	51.6
子どものおこづかいや 遊具費	154	739	2.5	758	2.5	693	2.5	836	2.9	495	1.7	357	1.6
大人のおこづかいや 遊具費	33	137	0.5	136	0.5	21	0.1	136	0.5	489	1.7	714	3.1
子どもに限定しない家庭の 日常生活費	322	3,428	11.8	3,421	11.5	3,082	11.0	3,951	13.8	3,528	12.5	1,429	6.3
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	848	12,710	43.6	13,886	46.5	11,057	39.6	11,050	38.5	12,283	43.4	7,143	31.3
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	162	1,821	6.2	1,963	6.6	1,177	4.2	2,021	7.0	2,272	8.0	714	3.1
その他	3	27	0.1	32	0.1	0	0.0	52	0.2	0	0.0	0	0.0
使い道をまだ決めていない・ わからない	172	2,111	7.2	1,758	5.9	3,410	12.2	1,938	6.7	1,863	6.6	0	0.0
計	-	29,141	100.0	29,857	100.0	27,928	100.0	28,731	100.0	28,315	100.0	22,857	100.0

また、長子と末子の年齢差別にみた使途別使用金額については、長子と末子の年齢差が小さい方が、「子どもの生活費」と「子どもの教育費等」の合計割合が少なくなるが、その中でも年齢差が3歳までであれば同水準になっており、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」も平均水準を確保できている。なお、「使い道をまだ決めていない・わからない」に大きな差異は見られない(表10)。

(表10) 児童手当等の使途別使用金額・長子と末子の年齢差別

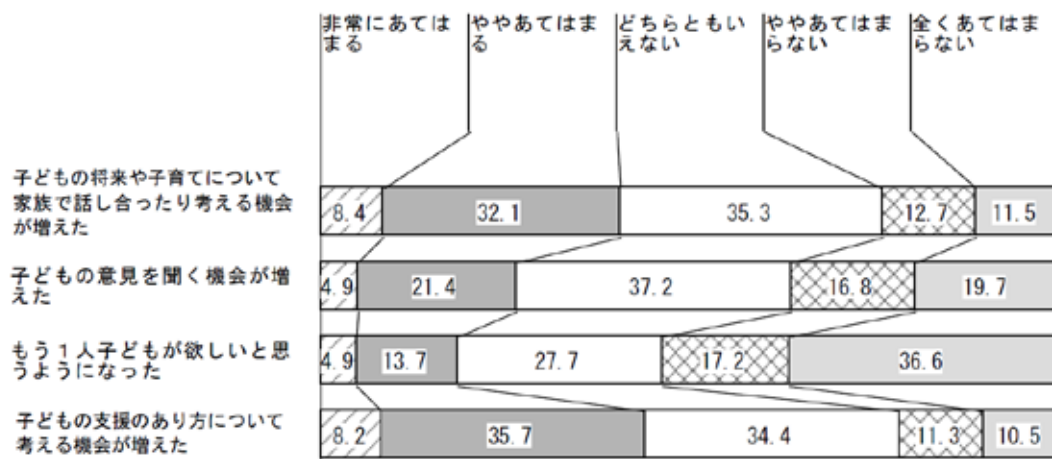
	回答者数 (人)	T O T A L		0 歳		1 歳		2 歳		3 歳		4 歳		5 歳 以上	
		金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子ども2人以上:n=5,829 0歳:n=444 1歳:n=245 2歳:n=1,226 3歳:n=1,199 4歳:n=830 5歳以上:n=1,885															
子どもの生活費	1,289	2,878	9.7	3,206	10.9	3,271	10.5	2,498	8.0	2,311	7.9	3,143	10.6	3,241	11.2
子どもの教育費等	1,701	4,630	15.6	3,559	12.1	4,520	14.6	4,731	15.2	4,506	15.4	4,705	15.9	4,878	16.8
子どものおこづかいや 遊具費	397	561	1.9	602	2.0	747	2.4	451	1.4	471	1.6	494	1.7	686	2.4
大人のおこづかいや 遊具費	67	97	0.3	68	0.2	302	1.0	92	0.3	78	0.3	82	0.3	98	0.3
子どもに限定しない家庭の 日常生活費	922	2,931	9.9	3,297	11.2	2,765	8.9	2,666	8.6	2,474	8.4	3,480	11.8	3,088	10.6
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	3,342	14,785	49.7	14,719	49.8	15,859	51.1	16,795	53.9	15,556	53.1	13,999	47.4	13,209	45.5
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	541	1,757	5.9	1,703	5.8	1,757	5.7	1,797	5.8	1,754	6.0	1,537	5.2	1,844	6.4
その他	18	79	0.3	203	0.7	61	0.2	41	0.1	100	0.3	41	0.1	80	0.3
使い道をまだ決めていない・ わからない	556	2,017	6.8	2,171	7.4	1,778	5.7	2,095	6.7	2,071	7.1	2,073	7.0	1,903	6.6
計	-	29,736	100.0	29,527	100.0	31,061	100.0	31,166	100.0	29,320	100.0	29,554	100.0	29,027	100.0

3. 児童手当等の支給による家庭の変化

児童手当等が支給されることによる家庭の変化を「子どもの将来や子育てについて家族で話し合ったり考える機会が増えた」「子どもの意見を聞く機会が増えた」「もう1人子どもが欲しいと思うようになった」「子どもの支援のあり方について考える機会が増えた」の4項目について、5段階評価で回答を得た。

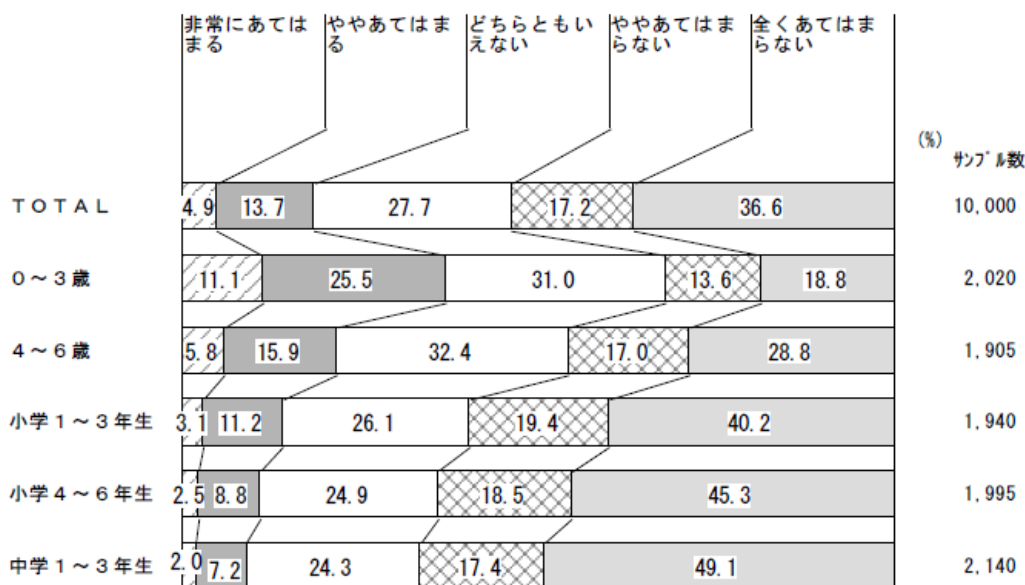
その結果、子どもの支援のあり方について考える機会が増えたことへの肯定評価(「非常にあてはまる」「ややあてはまる」の合計)が43.9%で最も高くなっている。次いで肯定評価が高いのは、「子どもの将来や子育てについて話し合ったり考える機会が増えた」で40.5%となっている(図2)。

(図2) 児童手当等の支給による家庭の変化の状況



また、「もう1人子どもが欲しいと思うようになった」について年齢区分ごと(長子の学齢区分別)にみると、「0～3歳」で肯定評価が一番多く、年齢が上がるごとに肯定評価の割合は下がっている(図3)。

(図3) 長子学齢区分別 もう1人子どもが欲しいと思うようになった者の状況



一方、世帯年収別に、「もう1人子どもが欲しいと思うようになった」と回答した者の状況をみると、「300万円未満」から「1,000万円以上」までいずれの階層も肯定評価は同程度であり、現行制度下では年収と児童手当等を受給したことによる出産意欲の変化は連動しない結果となっている（図4）。

（図4）世帯年収別 もう1人子どもが欲しいと思うようになった者の状況

